



## 特集 郷土 「逗子からはじまったものがたり」



### 逗子は吹奏楽部発祥の地?!



中高生の部活動人気ランキングで上位に入る「吹奏楽部」。そのはじまりの地のひとつは逗子でした。

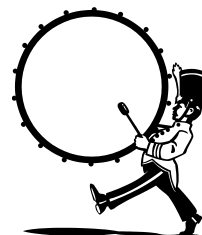


逗子市新宿にある逗子開成中学校・高等学校の吹奏楽部（前身の<sup>しんぶたい</sup>振武隊）が創設されたのは 1928 年（昭和 3 年）です。これは、全国のアマチュア吹奏楽団の中でも最も早い創設のひとつとされています。

『逗子開成百年史』Z 37 Z ｽ 百年誌編纂委員会編纂 より

### マメ知識 日本の吹奏楽の歴史

江戸時代の末期、吹奏楽は軍楽隊として日本に入ってきました。1850 年代に西洋式の軍隊が導入されるのにもなって、まず、大太鼓・小太鼓・笛の編成による「<sup>こてきたい</sup>鼓笛隊」が各地で編成されるようになったのです。その後、1869 年(明治 2 年)横浜の<sup>みょうこうじ</sup>妙香寺でイギリス陸軍第十連隊軍楽長フェントンが、薩摩藩出身の伝習生に軍楽隊の訓練を始めました。そして、1871 年(明治 4 年)に陸・海軍軍楽隊が創設されたそうです。こうして日本の吹奏楽の歴史が始まりました。



1909 年(明治 42 年)京都府立第二中学校（現・京都府立鳥羽高等学校）で、学校の課外活動の一環として吹奏楽が取り入れられているのですが、本格的に日本各地の学校で「吹奏楽部」が創設されるのは昭和初期です。

そして、前述の 1928 年(昭和 3 年)逗子開成中学校に<sup>しんぶたい</sup>振武隊（現・吹奏楽部）が創設されました。



『ブラスバンドの社会史—軍楽隊から歌伴へ—』764 ㍻  
阿部勘一〔ほか〕著 青弓社 より

クレージーキャッツのトロンボーン奏者であり、コメディアン、俳優としても活躍された故・谷啓さん（本名：渡部泰雄さん 1932～2010）は逗子開成吹奏楽部（当時は振武隊及び音楽部）の出身です。

昭和 20 年の春、中学校の入学式で聴いた振武隊の演奏に感動、戦争が終わった秋に入部したエピソードや、その後の音楽部での活動、ジャズとの出会いが、同窓会記念誌に生き生きとつづられています。



「・・・昭和二十年の秋、（中略）校庭の掲示板に「振武隊の部員募集！新入生諸君、こそって応募せよ！」という張り紙が目に入った。その数分後には、私はもう入部手続きを済ましていた。（中略）戦争中は絶対に演奏出来なかったアメリカのマーチで「星条旗よ永遠なれ」とか「双頭の鷲の（旗の）下に」とか「ワシントン・ポスト」とか、もうどれもこれも楽しくて明るくて、夢中になってこれ等の曲を、時の経つのも忘れて暗くなるまで音楽部室で演奏していた。（後略）」

『黒潮の流れのように一激動期を<sup>たくま</sup>逞しく生き抜いた少年達一』Z 37 Z 7

逗子開成学園高三回同窓会 より



## YA通信オススメの本～吹奏楽部編～



『オーケストラ楽器<sup>もぎだいすけ</sup>人間学』

763 円 茂木大輔著

草思社

この楽器を選んだヒトはこんなヒト？ オーボエ奏者によるユーモアあふれる「楽器別人格形成論」



『スウィングガールズ』

F ヲ 矢口史靖著

メディアファクトリー

映画「スウィングガールズ」の原作本。

映画では語られなかったエピソードも満載！

『はじめての管楽器メンテナンスブック

木管楽器編』 763 ヲ 山領茂著

ヤマハミュージックメディア

『はじめての管楽器メンテナンスブック

金管楽器編』 763 ヲ 山領茂著

ヤマハミュージックメディア

『部活動レベルアップガイド吹奏楽部』

YA 76 ナ 中野智美文・イラスト

斉藤義夫監修 汐文社

『楽隊のうさぎ』

F ナ 中沢けい著

新潮社

おくびょうな中学生は、吹奏楽部で生き生きとした自分を取りもどす。少年の成長を描く、吹奏楽部青春小説の名作です。



# 夏休みに読もう

YA 担当が  
選びました

## 中学生におすすめの本



### オリンピック、スポーツ

- 『車いすバスケットで夢を駆けろー元Jリーガー京谷和幸の挑戦ー』78キ 京谷和幸著 金の星社  
Jリーガーから一転車いす生活。しかし車いすバスケット選手として北京へ、さらに指導者としてロンドンへ。
- 『道は自分で切りひらくー大リーガーたちのチャレンジャー』M78ヒ 広岡勲著 岩波書店  
自分の生きる道は自分でしか切り開けない。逆境に負けず道を開いた偉大な選手たちの生き方に学べ。
- 『オリンピックのルーツを訪ねてー古代ギリシアの競技大祭ー』YA78ニ  
西川亮著 後藤淳著 協同出版 オリンピックのルーツを訪ねてみませんか？
- 『冒険家ー75歳エベレスト挑戦記ー』292ミ 三浦雄一郎著 実業之日本社  
70代で二度目のエベレスト登頂成功！二度の心臓手術を経てエベレストに挑戦。



### ノンフィクション

- 『オヤジ国憲法でいこう！』YA15シ しりあがり寿著 祖父江慎著 100%Orange 装画・挿画 理論社
- 『人はあなたの顔をどう見ているか』M14イ 石井政之著 筑摩書房  
著者は長年顔の大きなあざに苦しんできました。苦しみから抜け出したコンプレックス撃退法です。
- 『印刷職人は、なぜ訴えられたのか』YA31ジ ゲイル・ジャロー著 幸田敦子訳 あすなる書房  
報道の自由へと道を拓いた裁判の場で何が語られ、なされたのか。
- 『世界を信じるためのメソッドーぼくらの時代のメディア・リテラシー』YA36ト  
森達也著 100%ORANGE 装画・挿画 理論社  
TVで、ネットで、新聞で語られるのは本当のこと？真実を知るために身につけたい知恵があります。
- 『わたしが子どもだったころ 1～3』YA28ク1～3  
NHK「わたしが子どもだったころ」制作グループ編 ポプラ社  
第一線で活躍するプロたちは、どんな子ども時代を過ごしてきたのか？



### 感想文、レポートのヒント

- 『「名作」で鍛えるトコトン考える力』YA90ミ 宮川俊彦著 毎日新聞社  
● 作文のプロが贈る名作読解の特別授業。
- 『いのちの不思議を考えようー最前線の生命科学者12人に聞くー』460I  
朝日新聞出版編 テルモ科学技術振興財団「生命科学DOK | DOK | 研究室」監修 朝日新聞出版  
第一線の生命科学者12人が研究の内容や醍醐味、興味を抱いた理由、学生へのアドバイスなどを語る。
- 『13歳からの作文・小論文ノートー読み手を「なるほど」と納得させる27のルールー』YA81オ  
小野田博一著 PHPエディターズ・グループ  
「文章は自由に書け」は間違い。読み手に伝わるように書くにはルールとテクニックがあります。
- 『13歳からの論理的な文章のトレーニングー「説得力あるロジック」が身につく80問ー』YA81オ  
小野田博一著 PHPエディターズ・グループ 論理的な文章を書くための知識を紹介。



## 戦争と平和

『世界で一番の贈りもの』93㍲



マイケル・モーパーゴ作 マイケル・フォアマン画 佐藤見果夢訳 評論社  
第一次世界大戦の最前線各地で起こった「クリスマス休戦」の実話に基づいた物語。

『戦争をくぐりぬけたおさるのジョージー作者レイ夫妻の長い旅ー』72㍲

ルイズ・ボーデン文 アラン・ドラモンド絵 福本友美子訳 岩波書店  
「おさるのジョージ」の作者は、ナチスから逃げるため原稿を持ってドイツからアメリカへ脱出していた。

『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』YA21㍲ 加藤陽子著 朝日出版社

歴史学者である著者が、日清戦争から太平洋戦争にいたる戦争の世紀を、中高生とともに学んだ記録。

『折り紙でたくさんの笑顔を一言目の「折り紙大使」加瀬三郎物語ー』91.6㍲

田島栄次文・写真 永井泰子絵 石川えりこ絵 学研教育出版  
世界中の子どもたちを夢中にさせた盲目の折り紙大使、加瀬三郎の活動を紹介。



## 物語

『風の靴』YA91.3㍲ 朽木祥作 服部華奈子挿絵 講談社

夏の気持ちのよい風に吹かれ、たちまち海の上に連れ出してくれる一冊。

『ハティのはてしない空』YA93㍲ カービー・ラーソン作 杉田七重訳 鈴木出版

16歳の少女ハティは、ひとり土地の開拓に挑む。人と人とのつながりの暖かさを実感できる物語。

『チョコレート・アンダーグラウンド』933㍲ アレックス・シアラー著 金原瑞穂訳 求竜堂

健全健康党がチョコレート禁止法を発令。密売組織を作ったぼくたちのチョコレート大革命が始まる。

『人食いクラウス・コルドン短編集ー』94㍲ クラウス・コルドン作 松沢あさか訳 いよりあきこ絵  
さ・え・ら書房 ホラーではありません。ティーンのおもしろ日常を描いた短編集です。

『神去なあ日常』F㍲ 三浦しをん著 徳間書店 高校を卒業してもやりたいことがみつからない主人公が強制的に送り込まれた神去村。住人の口ぐせは「なあなあ」そんな村で彼の日常は…。

『イレギュラー』F㍲ 三羽省吾著 角川書店 被災地の練習ができない野球部と、強いはずなのに何かが足りない地元名門校。お互いがぶつかって生まれたものとは？

『ミムスー宮廷道化師ー』YA94㍲ リリ・タール作 木本栄訳 小峰書店

とらわれの王子フロリーンは敵国の王宮で宮廷道化師になるのだが…。



## 環境・エネルギー

『日本一わかりやすいエネルギー問題の教科書』50㍲ 水野倫之著 講談社

福島第一原発で起きた事故の意味から、いま日本が抱えている沢山の問題をわかりやすく解説する。

『あなたが世界を変える日ー12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチー』51㍲

セヴァン・カリス＝スズキ著 ナマケモノ倶楽部編・訳 学陽書房

1992年、国連の地球環境サミットで12歳の少女が語った伝説のスピーチ。あなたは何を感じますか。

『原発に反対しながら研究をつづける小出裕章さんのおはなしー「子どもから大人まで、原発と放射能を考  
える」副読本ー』54㍲ 野村保子著 小出裕章監修 クレヨンハウス

福島第一原発の事故ではどんなことが起きたの？原子力にくわしい先生が子どもたちの質問に答えます。